

「預言を軽く扱ってはならない」とはどういう意味でしょうか

聖書には預言についての明確な警告があります。

「預言を軽く扱ってはなりません」(テサロニケ第一 5:20)

預言を軽く扱うとは具体的にどういうことでしょうか。

どういう態度、認識だとそうなるのでしょうか。

すぐに思いつくのは、「全く意に介さない」「半信半疑」といった態度かと思いますが、それ以上に「軽く扱う」と言えるのは、軽率に「これが成就です」と宣言あるいは思い込む事でしょう。

軽く扱ってしまう人の人格特性や培った態度はどういうものでしょうか。

神に対す恐れがない、聖書に対する敬意がない、謙遜さの欠如、信仰の薄弱、などなどいろいろ挙げられると思いますが、それはともかく、次に挙げるような人々、組織については、あなたはどう判断されますか。

聖書預言の成就についての解説、報道に関して度重なる変更をしているものがあります。例えば、ハルマゲドンが起きるのは、1874年、いや1914年、いや1920年、いややっぱり1914年、じゃなくて1975年？。

北の王と南の王、終わりを見る世代、など、実際ほとんど全ての聖書預言についての説明を2転3転(4転5転、それ以上)繰り返してきたある組織の一例ですが、その歩みを平たく表現するとこんな具合です。

「以前のこのように出版しましたが、やっぱり違いました。実際はこうです。」

「あ、ちょっと違って本当はこうです。…ところが全く逆で、これが本当です。…だったのですが、新たな光があたったので、実はこれこそ真理です。・・・と思いきや、ただ単にこれが聖書の述べる所です。・・・と言われてきましたが、何と！やはり昔に戻って、やっぱりこれで良かったのです。・・・しかし、現段階まで預言が成就してきた今、事態を見守らなければ、何とも言えません。」

などなど、挙げたらキリがないくらい沢山あります。

さて、こうした事実は、どの説明が正しかったか間違っていたかはここで何も問題にしません。

考えて頂きたいのは、預言を「軽く」扱っているか、そうでないかと言う判断だけです。単純に、歴史の歴然たる事実だけを考慮して、こうした人々や組織は預言を「軽く」扱って来たのか、そうではないと言えるかと言う判断です。

さて、預言に対するこうした態度だけでなく、さらに別の方法によっても「預言を軽んじる」ということもあります。

聖書中の、「預言」と、そうではない記述を明確に区別していないという態度です。

巻末の「ものみの塔出版物の[〇〇級リスト]」をご覧ください。

これは出版物から拾い上げた、協会独特の表現方法である[〇〇級]という表現のリストですが、これからも分かるよう、聖書の主立った単語や人名のほとんどに「級」を付けて「預言的」に扱っています。

このように、「預言」の記述ではないものを「預言的なひな型」などという表現で、あたかも「預言」であるかのようにみなしてしまう、こうした落とし穴に陥ってしまうのは、「預言」とは語られていない（思われない）（以降「非預言」と表記します）旧約聖書中の記録が、新約聖書の中で「これは「―――」という言葉の成就であった」というような記述が見受けられることにあります。

あるいは、それほど明確に「預言」「成就」という表現ではないものの、ものみの塔では、「これは現代にどのように当てはまるか、あるいは将来の出来事をどのように予表していたか」、といった表現がひんぱんに使われます。

この「予表」という単語はもちろん聖書にはひとつも出てきません。

確かに、律法や幕屋、神殿の作り、祭司の儀式的な取り決めなどは、霊的な物事を表すものとして置かれたことが聖書に記されています。

一例を挙げれば、「天にあるものの模型的な表現また影」（ヘブライ 8:5）などのように、目に見えない物事や将来のビジョンを表すために、物事をパターン化して捉えることは確かに、聖書の特徴的な書き方と言えます。

そうした聖書中の前例があるために、これといった根拠がないのに、ある記述を「将来の事を指し示す型」として捉え、片っ端から、もっともらしい理屈を付けて「現代の成就」を作り出してしまうことがあり、読み手も、何も疑問を感じずに受け入れてしまうということが生じます。

今度はそうした一例を挙げてみますと、ものみの塔96年8/15号では、マタイ24:22の「その日が短くされないとすれば、肉なる者はだれも救われなないでしょう。」という節の「肉なる者」は現代の誰を表していたかという論議が延々となされています。

*** 塔 96 8/15 17 ページ 10 節 神が行動される時、あなたは救われますか ***

「以前、この『救われる肉なる者』とは、西暦 70 年にエルサレムに臨んだ患難を生き残ったユダヤ人のことである、と説明されました。クリスチャンが逃げ去っていたので、神はローマ人が速やかな滅びをもたらすままにすることができた、言い換えれば、「選ばれた者たち」が危険を脱していたことのゆえに患難の日は短くされて一部のユダヤ人の「肉なる者」が救われることになったのです。それら生き残ったユダヤ人は、わたしたちの時代に到来する大患難を生き残る人々を予表している、と考えられました。」

とあって、「肉なる者」は現代の「大群衆」を予表していたという以前の説明は間違いで、正しくは、

「肉なる者」は、油そそがれた残りの者たちと「大群衆」を予表していた。という記事を載せています。 ー同 20 ページ 22 節

しかし、誰がどう読んでも、「患難が短くされないなら、肉なる者は誰も救われぬ」という表現の「肉なる者」は、食物、水、睡眠、衣服など多くの物に命が依存している単に「人間」を指していることは誰にでも分かります。

これがある特定のグループを「予表」していると言える根拠はまったくありません。

それで、「預言を軽く扱ってはならない」という警告の言葉を考える時、明確な「預言」でさえ、その言及に慎重であるべきなのに、「もしかしたら預言かも知れない」「パターンが似てるので預言的意味を含んでる可能性がある」と考え、しかもそれに留まらず「そしてこれは、このように成就しました」と断言してしまうのは、「預言を軽んじる」危険を犯すことになりかねません。

さて、非預言と思える記述を預言成就と説明する、聖書中の前例について触れましたが、これには、一つの見落としとしてはならない重要な要素があります。

それは、それを行ったのは「神の靈感を受けた聖書筆者」であったということです。つまり、非預言を預言として扱う事を許されたのは、“聖書執筆有資格者”であったということです。

そして、聖書が書き終えられた以降、非預言を預言と断定できる人間はひとりもいないはずだと言えます。

その書き終えられた聖書の「預言を軽く扱ってはならない」というのは、神がご自分のことばとして、その中で預言とされたものだけを「預言」とみなすというのが相応しいあるべき態度であると言えないでしょうか。

言い換えれば、人が新たに、勝手に聖書歴史の記述のある部分を「預言」に昇格させて、別の新しい「預言」を創り出す必要などないと考えべきでしょう。

そしてさらには、“預言成就の先取り”という方法によって、軽んじることも見られます。一例を挙げると、「大いなるバビロンから出なさい」という叫び声上がる。という啓示 18：1－4の預言ですが、これはハルマゲドン直前の出来事として記述されています。当然この預言は未だ成就していません。

また、依然として「わたしの民」つまり“是認されたクリスチャン”はまだ「彼女」の中にいます。つまり、この文章を執筆している2011年3月の時点で、まだクリスチャンの内、本物と偽物の分離はなされてはいないということです。

ヨハネへの啓示が書かれて以来、これまでの間、いつでもこれを読むことができましたが、未だに「彼女から出なさいという、み使いの声が上がる」という聖書預言は成就していないにも関わらず、ものみの塔は何十年も前から、出版物を通して、また「野外奉仕」で世界中の人々に対してこの声を上げています

*** 啓 36 章 265 ページ 24 節 荒廃させられる大いなる都市 ***

「大いなるバビロンから逃げて、彼女の災厄にあずからないようにするよう、神の民に警告しています。大いなるバビロンを含め、この世に対する災厄のようなエホバの裁きは、今やふれ告げられています。(啓示 8:1-9:21; 16:1 - 21) もし神の民がそのような災厄に遭って、結局、彼女と共に死ぬようなことを望まないなら、偽りの宗教から離れる必要があります。」

神が成就される時を差し置いて、早々と、しかも「み使い」の行うことを、勝手に人間が、代行する態度は「預言を軽んじる」行為としてこれ以上甚だしい態度は他に例を見ないでしょう。

しかし、実際には、この一例以外にも、数多くの預言を「先取り」し、成就を「代行」しているのが「ものみの塔聖書冊子協会」です。



ものみの塔出版物に出現する主な「〇〇級」リスト。これだけでも 325 種あります

144,000 Class	Dishonorable Class	Highest Class	Naomi Class	Second Company Class
20,736,000,000 Class	Dispensable Class	Hireling Class	Needy Class	Second Death Class
Abel Class	Disreputable Class	His Bride Class	Neglected Class	Secondary Class
Achan Class	Dog Class	His Jewel Class	Nehemiah Class	Seed Class
Aggressive Class	Eagle Class	Holier Class	Nephilim Class	Seeking Class
Altar Class	Earthly Class	Holiness Class	Nethinim Class	Select Class
Amaziah Class	Earthly Hope Class	Honored Class	Nicodemus Class	Separate Class
Ammonite Class	Edom-Idumea Class	Hopeless Class	Nominal Class	Servant Class
Amos Class	Edomite Class	Humble Class	Nominal Temple Class	Servants of the City Class
Ancient Class	Elder Class	Hypocrite Class	Non-Elect Class	Sheep Class
Ancient Worthy Class	Elect Bride Class	Improper Class	Numerous Class	Silver Class
Anointed Class	Elect Class	Infant Class	Obedient Class	Simon Magus Class
Anointed Remnant Class	Elijah Class	Influential Class	Obscure Class	Sinner Class
Antagonistic Class	Elijah-John-The-Baptist Class	Inspired Class	Official Class	Sister Class
Anti-pas Class	Elijah-Like Class	Intractable Class Isaac Class	Opposite Class	Slave Class
Antitypical Levite Class	Elisha Class	Ishmael Class	Opposition Class	Son Of Heaven Class
Apostatized Class	Enthroned Class	Israel Class	Ostracized Class	Special Class
Apostle Class	Envious Class	Jacob Class	Other Sheep Class	Specific Class
Arisen Class	Esau Class	Jehu Class	Outcast Class	Spirit-Begotten Class
Aryan Class	Esther Class	Jeremiah Class	Overcomer Class	Spiritual Adultery Class
Beloved Class	Eunuch Class	Jerusalem Class	Overcoming Class	Spiritual Class
Betrothed Class	Evil Slave Class	Jew Class	Parent Class	Splendid Class
Bird Class	Exalted Class	Jewel Class	Pastor Russell Class	Spurious Class
Bitter Class	Ezekiel 44 'Gate Shut' Class	Job Class	Peculiar Class	Standfaster Class
Blemished Class	Ezekiel Class	John Class	Penitent Class	Steward Class
Body Class	Faith Class	Joint-Heir Class	Permanent Class	Submerged Class
Bride Class	Faithful and Discreet	Jonadab Class	Peter Class	Subordinate Class
Bridegroom Class	Servant Class	Jonathan Class	Pharisaical Class	Subsidiary Class
Brier Class	Faithful and Discreet Slave	Joshua Class	Pharisee Class	Suitable Class
Brother Class	Class	Judas Class	Philistine Class	Superior Class
Caleb Class	Faithful and Discreet	Judge Class	Preacher's Class	Swine Class
Camp Class	Steward Class	Justified Class	Preaching Class	Tare Class
Carnal-Minded Babes In	Faithful and Wise Servant	King Class	Priest Class	Tarried Class
Christ Class	Class	Kingdom Class	Priesthood Class	Temple Class
Chaff Class	Faithful and Wise Steward	Kingly Class	Priestly Class	'The Man in Linen' Class
Changers Class	Class	Laity Class	Principal Class	'Thee' Class
Chief Class	Faithful Class	Lapsing Class	Prodigal Class	Third Class
Chieftain Class	Favorable Class	Large Class	Prophet Class	Tribulation Class
Child Of God Class	Favored Class	Lazarus Class	'Prophet' Class	True Bride Class
Childlike Class	Feet Class	Levite Class	Prophetic Class	True Wheat Class
Chosen Class	Fighting Class	Levitical Class	Prophet-like Class	Unfaithful Class
Christ Class	First Class	Little Class	Putty Class	Unprincipled Class
Christian Sanctuary Class	First-Born Class	Lord Class	Reformer Class	Unsaved Non-Elect Infant Class
Christiania Class	Firstfruit Class	Lordly Class	Reigning Class	Unsuitable Class
Church Class	Flock Class	Lords over God's Heritage	Religious Class	Upper Class
Churchianity Class	Foolish Virgin Class	Class	Remnant Class	'Us' Class
Composite Class	Foreknown Class	Lower Class	Reproached Bullock Class	Vile Class Viper Class
Conqueror Class	Fourth Class	Lowest Class	Reputable Class	Virgin Class
Consecrated Class	Gershonites Class	Loyal Class	Resident Class	Watchman Class
Cream Class	Glorified Class	Lunatic Class	Restitution Class	Wheat Class
Created Class	Glorious Class	Man Of Perdition Class	Restless Opposition Class	Wicked and Slothful Servant Class
Creditor Class	Goat Class	Man Of The True God Class	Royal Class	Wicked Class
Critic Class	Goats Class	Man With the Writer's	Running Class	Winnowing Class
Cultured Class	Gold Class	Inkhorn Class	Ruth Class	Wise Virgin Class
Dan Class	Governing Class	Many Class	Ruth-Naomi Class	Worldly Class
Dangerous Class	Great Class	Mediator Class	Sadducees Class	Worst Class
Darkened Class	Great Company Class	Messiah Class	Saint Class	Worthies Class
David Class	Great Crowd Class	Messianic Class	Saintly Class	Zealous Class
Dead Class	Great Multitude Class	Millennial Age Class	Salt Class	Zerubbabel Class
Debtor Class	Great Restitution Class	Ministers of the Gospel	Salter Class	Zionistic Class
Deceived Class	Great Teacher Class	Class	Samaritan Class	
Dependent Class	Groom Class	Minor Class	Sanctified Class	
Depraved Class	Ground Class	Mordecai Class	Sanctuary Class	
Desirable Class	Harvest Class	Mordecai-Esther Class	Saul Class	
Dictator Class	Heavenly Class	Moses Class	Scapegoat Class	
Dignified Class	Heavenly Hope Class	Mustard Seed Class	Sea Class	
Disciple Class	High Angel Class	My Bride Class	Seashore Class	
Disfavored Class	Higher Class	Mystery Class	Second Class	

一番頻繁に登場するのは「奴隷級」ですが、主だった人の名前のほとんどに「級」が付けられています